

# 地球温暖化対策計画書

## 1 指定地球温暖化対策事業者の概要

### (1) 指定地球温暖化対策事業者及び特定テナント等事業者の氏名

指定地球温暖化対策事業者 又は特定テナント等事業者の別	氏名（法人にあつては名称）
指定地球温暖化対策事業者	東京都

### (2) 指定地球温暖化対策事業所の概要

事業所の名称		東京辰巳国際水泳場							
事業所の所在地		東京都江東区辰巳二丁目8番10号							
業種等	事業の業種	分類番号	N80	N_生活関連サービス業_娯楽業		娯楽業			
		産業分類名	娯楽業						
	事業所の種類	主たる用途	文化						
		建物の延べ面積 (熱供給事業所にあつては熱供給先面積)	前年度末	22,366.88	m <sup>2</sup>	基準年度	22,366.88	m <sup>2</sup>	
		用途別内訳	事務所	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			情報通信	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			放送局	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			商業	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			宿泊	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			教育	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			医療	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
			文化	前年度末	22,366.88	m <sup>2</sup>	基準年度	22,366.88	m <sup>2</sup>
			物流	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>
駐車場	前年度末			m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>		
工場その他上記以外	前年度末		m <sup>2</sup>	基準年度		m <sup>2</sup>			
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設提供業務（メイン・サブ・ダイビングプール、会議室 等）</li> <li>スポーツ事業（都民を対象としたスポーツ関連事業）</li> </ul>							
敷地面積		22,885.70 m <sup>2</sup>							



(3) 担当部署

計画の 担当部署	名 称	東京辰巳国際水泳場指定管理者株式会社オーエンス 施設担当
	電 話 番 号 等	03-5569-5061
公表の 担当部署	名 称	公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 事務局
	電 話 番 号 等	zaidan@tef.or.jp

(4) 地球温暖化対策計画書の公表方法

公表方法	ホームページで公表	アドレス： <a href="https://www.tef.or.jp/contribution.jsp">https://www.tef.or.jp/contribution.jsp</a>
	窓 口 で 閲 覧	閲覧場所：
		所在地：
		閲覧可能時間
	冊 子	冊子名：
		入手方法：
そ の 他	アドレス：	

(5) 指定年度等

指定地球温暖化対策事業所	2018	年度	事業所の使用開始年月日	1993	年	6	月	11	日
特定地球温暖化対策事業所	2020	年度							

2 地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

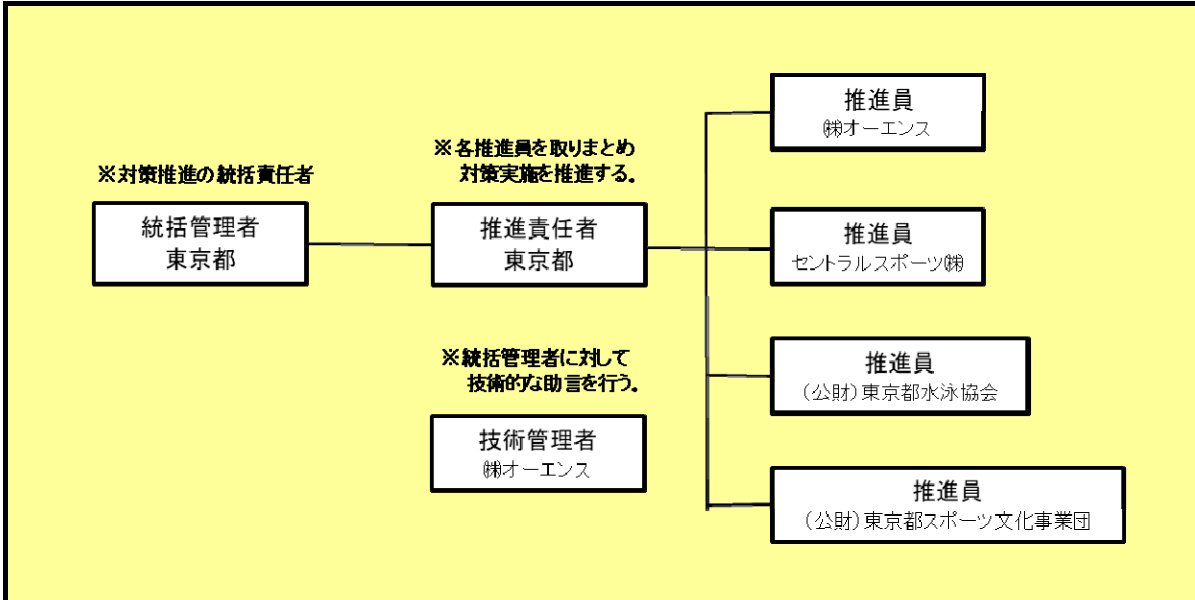
当施設では、日頃から環境に配慮した活動を推進しており、以下の点を重視して地球温暖化対策に取り組んでいる。

(1) 施設における省エネの取り組み  
維持管理業務において、計画的な設備の稼働や運用対策を検討するなど積極的に温室効果ガスの排出抑制に努める。  
設備更新における高効率設備の導入推進を図る。

(2) 普及啓発活動  
職員及び施設関係者の環境問題への関心を高め、節電、省エネに伴う照明の部分消灯や定時消灯、空調機の弱冷房運転等に関して、各人の理解と協力を求めるため啓発する。

再エネの導入・利用に関する取組みについて：

3 地球温暖化の対策の推進体制



4 温室効果ガス排出量の削減目標（自動車に係るものを除く。）

(1) 現在の削減計画期間の削減目標

計画期間	2020 年度から 2024 年度まで			
削減目標	特定温室効果ガス	2019年導入のLED照明の運用や設備の高効率化を目指し、エネルギー使用量の削減を目指す。		
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	当施設から排出される「特定温室効果ガス以外の温室効果ガス」は上水道の使用及び下水道への排水に伴う二酸化炭素の排出が主たる排出源となっているため、掲示等により職員や利用者に節水呼びかけ、当該温室効果ガスの削減を推進する。		
削減義務の概要	基準排出量	3,868 t（二酸化炭素換算）/年	削減義務率の区分	I-1
	排出上限量（削減義務期間合計）	17,447 t（二酸化炭素換算）	平均削減義務率	10%

(2) 次の削減計画期間以降の削減目標

計画期間	2025 年度から 2029 年度まで	
削減目標	特定温室効果ガス	積極的な高効率設備への更新や、効率的な設備運用を実施することにより、指定当初の温室効果ガス排出量の17%以上の削減を目指し、削減後の数字を維持する。
	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス	引き続き節水を行うことにより、その他ガス排出量を現状より削減した状態を維持する。

5 温室効果ガス排出量（自動車に係るものを除く。）

(1) 温室効果ガス排出量の推移

単位：t（二酸化炭素換算）

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
特定温室効果ガス （エネルギー起源CO <sub>2</sub> ）	3,138				
その他ガス	非エネルギー起源 二酸化炭素（CO <sub>2</sub> ）				
	メタン （CH <sub>4</sub> ）				
	一酸化二窒素 （N <sub>2</sub> O）				
	ハイドロフルオロカーボン （HFC）				
	パーフルオロカーボン （PFC）				
	六ふっ化いおう （SF <sub>6</sub> ）				
	三ふっ化窒素 （NF <sub>3</sub> ）				
	上水・下水	38			
合計	3,176				

(2) 建物の延べ面積当たりの特定温室効果ガス年度排出量の状況

単位：kg（二酸化炭素換算）/㎡・年

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
延べ面積当たり 特定温室効果ガス 年度排出量	140.3				

6 総量削減義務に係る状況（特定地球温暖化対策事業所に該当する場合のみ記載）

(1) 基準排出量の算定方法

<input checked="" type="radio"/> 過去の実績排出量の平均値	基準年度：（ 2017年度、2019年度 ）
<input type="radio"/> 排出標準原単位を用いる方法	
<input type="radio"/> その他	算定方法：（ ）

(2) 基準排出量の変更

	前削減計画期間	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
変更年度						

(3) 削減義務率の区分

削減義務率の区分	I - 1
----------	-------

(4) 削減義務期間

2020年度から 2024年度まで
-------------------

(5) 優良特定地球温暖化対策事業所の認定

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
特に優れた事業所への認定					
極めて優れた事業所への認定					

(6) 年度ごとの状況

単位：t（二酸化炭素換算）

		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	削減義務期間合計
決定及び予定の量	基準排出量 (A)	3,868	3,868	3,868	3,868	3,868	19,340
	削減義務率 (B)	8.00%	8.00%	8.00%	8.00%	17.00%	
	排出上限量 (C = ΣA - D)						17,447
	削減義務量 (D = Σ(A × B))						1,893
実績	特定温室効果ガス排出量 (E)	3,138					3,138
	排出削減量 (F = A - E)	730					730

(7) 前年度と比較したときの特定温室効果ガスの排出量に係る増減要因の分析

増減要因	<input type="checkbox"/> 削減対策	<input type="checkbox"/> 床面積の増減	<input type="checkbox"/> 用途変更
	<input type="checkbox"/> 設備の増減	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
具体的な増減要因	4月から8月中旬まで東京2020大会の開催及び準備期間として休館していたことにより特定温室効果ガスの排出量が減少した。 なお、東京2020大会は2021年度に開催延期となった。		

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
	【特定温室効果ガス排出量の削減の計画及び実施の状況】				
1	150200	15_照明設備の運用管理	照明の間引点灯	2018年度より	従業員利用エリアに関して、必要最低限の照度設定を行う。
2	150200	15_照明設備の運用管理	消灯時間の調整	2018年度より	利用状況に合わせて消灯時間を調整する。
3	130100	13_空気調和の管理	夏季ライフスタイル	2018年度より	事務所内冷房の28℃設定。
4	150200	15_照明設備の運用管理	メタルハライドランプをLEDへ更新	2019年度 実施済み	メイン・ダイビングプールの照明をLEDへ更新し電気使用量を減少する。
5	130200	13_空気調和設備の効率管理	パッケージ型空調機1台の更新	2018年度 実施済み	1993年導入のパッケージ型空調機を更新し、高効率化を図る。
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					

7 温室効果ガス排出量の削減等の措置の計画及び実施状況（自動車に係るものを除く。）

対策 No	対策の区分		対策の名称	実施時期	備考
	区分 番号	区分名称			
17					
18					
19					
20					
	(再生可能エネルギーの設備導入及び利用の状況)				
71					
72					
73					
	【その他ガス排出量の削減の計画及び実施の状況（その他ガス削減量を特定温室効果ガスの削減義務に充当する場合のみ記載）】				
81					
82					
83					
	【排出量取引の計画及び実施の状況】				
91					
92					
93					

8 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価（自動車に係るものを除く。）

(1) 施設における省エネの取り組み

①空調設定温度の上昇

施設職員及び関係者の夏季軽装での出勤・執務を推奨・実施することによって、空調設定温度を上げて運転し、電力削減に努めているが、健康管理や業務効率を考慮して、猛暑日等は柔軟に対応した。

②事業所内照明の計画運用

競技用照明をパターン設定とし、通常営業時・大会時・休館日等でそれぞれ照明の点灯数を変更し、効率的な使用を

している。また、営業終了後は職員在中エリア以外の照明を消灯するなど電力削減に努めている。

③夜間電力の抑制

大会日は上限21時までの貸出となるが、21時前に撤収・片付けが終了する場合、早めにプールエリアや廊下等共用部

の電気を消灯している。

(2) 設備機器の更新及び補修による機能改善

○設備機器更新内容

- ・2019年3月 レストラン空調機（1台）更新。
- ・2020年2月 メインアリーナ照明のメタルハライドランプ（205灯）をLED（153灯）に更新。
- ・2021年2月 直流電源設備更新。
- ・2021年6月 事務室内照明をLED蛍光灯（24灯）に更新。